

募集

～教育の質向上を目指すICT利用～

2021年度 ICT利用による教育改善研究発表会（オンライン開催）

開催要項

この発表会は、全国の国立・公立・私立の大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質向上を目指した教育活動の推進を目的として、平成5年より優れた研究発表を選考し、表彰しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞、優秀な発表に対しては協会賞等を授与し、その教育業績を顕彰します。

ここでは、アクティブ・ラーニング、PBL（問題発見・課題解決型学習）等による教育方法の改善、遠隔（オンライン）授業導入による教育方法の改善、学修成果の評価方法など、多岐に亘った実践にもとづく研究成果の発表を予定しています。

大学教職員の皆様には、今後の教育活動の改善・充実に示唆を与えるものですので、発表会の重要性をご考察にまわり、奮って参加いただくことを希望します。

日 時：2021年（令和3年）8月25日（水）10:00～18:00

配信会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）からZoom配信

開催方法：オンラインによるテレビ会議室（Zoom使用）とします。なお、申込者には8月18日（水）にメールでテレビ会議室専用のURL、IDとパスワードをお知らせします。

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省（予定）

参加対象 国立・公立・私立の大学・短期大学の教職員、賛助会員

参 加 費 【参加者1人当たり】

加盟大学・短期大学、賛助会員：8,500円（税込）

非加盟大学・短期大学：17,000円（税込）

* 発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。 <http://www.juce.jp/LINK/houhou/21houhou/21junbi.htm>

* 加盟校の確認は右のサイトをご覧ください。 <http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

参加者には、当日のZoom録画データを後日閲覧できるよう、3日間程度保管し、録画視聴としてテレビ会議室専用のページで案内します。

なお、上記に加えて、有料のオンデマンドサービスを申し込まれている本協会加盟校および賛助会員は、当日の発表スライドと発表映像（許可が得られたもの）を12月ごろから1年間、閲覧できます。

申込方法 **Webからの申込み**

下記Webの「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<http://www.juce.jp/LINK/houhou/21houhou/>

FAXでの申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

オンライン開催のため、各参加者には事前に発表会資料集を郵送します。

参加者は確実に受取れるよう、送付先住所、メールアドレスと緊急連絡用電話番号を記入ください。

※申込に記載の個人情報、下記の目的のみに使用し、それ以外には使用しません。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、発表会資料集（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、事業案内の連絡先情報として使用します。「送付先住所」と「電話番号」は発表会開催後にデータを削除します。

申込締切り **令和3年8月18日（水）**

* テレビ会議室専用のURL、IDとパスワードをお送りした後のキャンセルはできません。この場合、参加費の返金はしませんのでご了承ください。

参加費振込 できるだけ8月18日（水）までにお振込み下さい。

一括振込みの場合：振込依頼人名には、大学名、企業名の他に部署名等を記載ください。

個人振込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名、企業名の他に氏名を記載ください。

振込先 シジョウキョウ りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私信協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

* 振込手数料は申込者各自で負担願います。

* 払い込み後のキャンセルは、8月17日（火）まで受付、払い込まれた参加費から振込手数料を差し引いた額を返金します。

送付・問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail:info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798/FAX:03-3261-5473

2021年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(55件)

*発表は3会場から配信します。

*研究発表者名は発表代表者を掲載しています。

(敬称略)

	時間	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名
A 人文学・社会科学・芸術・地域創生・その他	10:00	A-1	パターン・ランゲージを活用したオンラインコラボレーションスキル向上の取り組み	古賀 暁彦	産業能率大学
	10:20	A-2	オンラインテストを利用した繰り返し再試有り型の単元別通過型授業内外テスト	小川 健	専修大学
	10:40	A-3	コロナ禍オンライン授業で学生はいかに学び合ったか ～メーリングリストの可能性への一考察～	岩本 陽児	和光大学
	11:00		休 憩		
	11:10	A-4	LMSを積極的に活用したオンデマンド授業ー動機づけと学習意欲の向上を目指してー	大久保 和宣	流通経済大学
	11:30	A-5	オンライン授業の高度な活用による大規模授業の革新、学びの深化、学生の満足度の向上	杉山 章	東京福祉大学
	11:50	A-6	社会科学系学部でのオンライン授業の課題	高橋 義仁	専修大学
	12:10		休 憩		
	13:10	A-7	バーチャル研究室から生まれるゼミの一体感ー学生の研究意欲向上への取り組みー	大江 秋津	東京理科大学
	13:30	A-8	遠隔による国際協力実習ーフィリピンでの貧困地区の子どもたちと学ぶSDGs	新田目 夏実	拓殖大学
	13:50	A-9	能動的鑑賞法による芸術を介した他者との出会い	佐々木 陽子	南山大学
	14:10		休 憩		
	14:20	A-10	ポストコロナの大学教育における持続可能なDX試論:講義科目編	義永 忠一	桃山学院大学
	14:40	A-11	ハイブリッド授業における反転授業の実践と効果	木本 圭一	関西学院大学
	15:00	A-12	ICTを活用した簿記・会計教育ー実用科目の成果(簿記検定)を求めて	金 承子	静岡英和学院大学
	15:20		休 憩		
	15:30	A-13	ICT活用によるキャンパス内での海外研修の再現と異文化理解の促進	祖父江 カースティ	日本福祉大学
	15:50	A-14	学生の主体的な活動による地域貢献及び教育的資質能力向上の取り組み	安藤 秀朗	中央大学
	16:10	A-15	自己調整学習力を育むオンラインPBLの実践とルーブリック評価	田中 孝治	金沢工業大学
	16:30		休 憩		
B 情報専門・理工学・工学・農学・生活家政・医療・	16:40	A-16	下仁田町の活性化に資する新作パン創造のためのビジネスゲーム開発とその効果	前田 拓生	高崎商科大学
	17:00	A-17	ピアノ個人レッスンにおけるICT利用による効果的な指導と自主的な学習への導き	田中 敬子	兵庫大学
	17:20	A-18	日本古典文学領域におけるICT利用による授業改善と国際化	福田 安典	日本女子大学
	10:00	B-1	コロナウィルスの影響に伴う土木工学科水理学の教育について	安田 陽一	日本大学
	10:20	B-2	理工系オンライン授業のためのマルチメディア教材作成システムの開発	駒田 智彦	日本大学
	10:40	B-3	オンデマンド教育における体験的学習をもたらすシミュレータ教材の効果について	須田 宇宙	千葉工業大学
	11:00		休 憩		
	11:10	B-4	工学英語授業の複合的オンライン化による学修成果の伸長促進	棕平 淳	大阪工業大学
	11:30	B-5	給食経営管理実習におけるVirtual場を用いたオンライン授業の開発と効果	松月 弘恵	日本女子大学
	11:50	B-6	視聴学生リクエスト型反転授業による講義意義の向上	由良 亮	中京学院大学
	12:10		休 憩		
	13:10	B-7	Teamsを活用した遠隔授業による不自由さ軽減及び講義効率化への取り組み	土屋 秀和	東海大学
	13:30	B-8	オフラインで利用できる軽量の講義視聴システムの開発	荻原 剛志	京都産業大学
	13:50	B-9	基礎化学実験におけるLMSを活用したハイブリッド授業の試み	小池 裕也	明治大学
	14:10		休 憩		
	14:20	B-10	LMSを活用した一般教育科目の学修時間の確保	寺田 貢	福岡大学
	14:40	B-11	透明蛍光黒板(ライトボード)を使った遠隔授業の改善	登尾 浩助	明治大学
	15:00	B-12	開示情報からの試験問題自動生成による公平性を担保した遠隔試験の実施方法	遠藤 大二	酪農学園大学
	15:20		休 憩		
C 初年次教育・キャリア基礎・語学・幼児初等中等・	15:30	B-13	オンラインによるチーム医療人養成のための学部横断型初年次コミュニケーション教育	米本 倉基	藤田医科大学
	15:50	B-14	ICTを活用した診療放射線技師教育における課題解決型学習の理解度と学習効果向上	安井 啓祐	藤田医科大学
	16:10	B-15	医療教育におけるDXを目指した早期体験学習オンライン成果報告会の実践と普及	二瓶 裕之	北海道医療大学
	16:30		休 憩		
	16:40	B-16	ICTを活用した医学教育における水平的統合型TBLの試み	丸谷 伶	近畿大学
	17:00	B-17	体験型学習にICTを導入した実践例における教育効果の検証	渡部 俊彦	東北医科薬科大学
	17:20	B-18	薬学部5年生のICT支援型国試対策における課題形態に対する選好	福留 誠	神戸学院大学
	17:40	B-19	統計授業における「R」の活用とオンライングループ活動による相互評価の試み	西 誠	金沢工業大学
	10:00	C-1	学生自らの学び改善のためのワークショップ(導入科目)	小林 志好	東京都市大学
	10:20	C-2	大学生としての勉強・研究土台であるリサーチ・リテラシーを体得する授業改善取り組み	浅野 美代子	大東文化大学
	10:40	C-3	系統的な初年次ライティング教育による表現力を育むブレンド教育の実践	二上 武生	工学院大学
	11:00		休 憩		
	11:10	C-4	オンライン授業におけるミーティングツールを活用した協調学習の促進	中村 太蔵留	武蔵野大学
	11:30	C-5	英語ライティング学習におけるソーシャル・ネットワークの学習支援システムの活用	飯尾 淳	中央大学
	11:50	C-6	ICTが活用できる次世代の日本語教師の養成～DX化とポストコロナ時代を見据えて～	尾本 康裕	城西国際大学
	12:10		休 憩		
	13:10	C-7	テスト・学習の一体型中国語システムの構築	永江 貴子	拓殖大学
	13:30	C-8	上級英語コースにおける「気づき」という概念や批判的思考の一貫性に向けて	ジェニングズ スティーブン	東京理科大学
	13:50	C-9	大人数zoomクラスにおける心理的・技術的サポートの工夫:弱さを活かす!	尾崎 真奈美	相模女子大学
	14:10		休 憩		
	14:20	C-10	オンラインによる就職支援「就活シミュレーションシステム」の構築の実践と教育効果	小泉 京美	相模女子大学
	14:40	C-11	コロナ禍でのフルオンライン環境によるインターンシップの事前・事後指導と教育効果	庄司 一也	帝京平成大学
	15:00	C-12	コロナ禍における初年次教育の情報環境整備に向けて	谷口 郁生	日本大学
	15:20		休 憩		
	15:30	C-13	遠隔授業における大学初年次のプレゼンテーション活動の実践例	亀田 真澄	山口東京理科大学
	15:50	C-14	ハイフレックス型による体育実技「バスケットボール」の有効性	小谷 究	流通経済大学
	16:10	C-15	動画教材の客観的なふりかえりの効果に着目した新しいICT教育の実践	濱田 美晴	高知学園短期大学
	16:30		休 憩		
	16:40	C-16	ハイブリッド授業を通じたPBL型協働学習における協働力・批判的思考力の効果測定	村上 太郎	九州女子大学
	17:00	C-17	オンデマンド型授業の導入がPBLの学習成果に与えた影響:交差遅れモデルを用いて	石川 勝彦	山梨学院大学
	17:20	C-18	授業支援システムを用いたドキュメンテーションによるPBL型協働学習の効果評価	谷口 幹也	九州女子大学